9 その他のかんきつ類の品種特性表

品種・系統名	原産地及び来歴	果実の特性	樹の特性	栽培上の注意事項	収穫期及び可食期
西南のひかり	果樹研口之津で(アンコール×興津早生No21)×陽香を交配 2009年品種登録	果実は平均 160～180gとなり、扁平形で果径指数は 140 程度、果皮は橙色から濃橙色で滑らかで剥皮性は良い。	樹勢はやや弱。 トゲは多いが、現在育成地においてとげの少ない苗木を育成中	樹勢がやや弱く、隔年結果をおこしやすいため、摘果管理を適正に行う。	収穫期 12月上旬～12月中旬 可食期 12月下旬～1月下旬
はるみ	静岡県清水市興津中町 農水省果樹興津支場(現独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門)育成 清見×F2432ポンカン 1999年品種登録	果実重は190g前後、果形は扁球系で、果形指数は120前後、果実肥大は良好である。果実の外観及び果肉はポンカンに似る。食味がよく、貯蔵中の味ぼけが少ない。 糖度12～13。	樹勢は中庸、樹姿はやや直立性である。 短いトゲが少しみられるが、樹勢が落ち着けば消失する。	隔年結果性が強いので、適正摘果が必要。また、収穫時期が遅れると浮皮が生じることがあるので、収穫時期に注意する。 温暖な地域での栽培が必要。	収穫期 12月下旬～1月上旬 可食期 1月下旬～2月下旬
津之輝	果樹研口之津(現 農研機構果樹茶業研究部門)で(アンコール×興津早生 No14)×アンコールを交配 2009年品種登録	果実は平均 150g 程度で、施設栽培では 250g 前後の大果となる。 糖度は 13 度前後と高く、酸は 0.8～1.2%。浮皮は 発生しない。	樹勢は中庸で、樹姿はやや直立性。短いトゲの発生が少しみられるが、樹勢が落ち着けば消失する。	露地栽培では、最低気温が-4℃以下に低下しない温暖な地域での栽培が望ましい。・施設栽培は 200～250g の大果で外観が良好となることから、施設栽培も可能。	収穫期 1月中旬～2月上旬 可食期 1月下旬～2月中旬
せとか	長崎県南高来郡口之津町(現南島原市) 農水省果樹口之津支場(現 農研機構果樹茶業研究部門)育成 (清見×アンコール)×マーコット 2001年品種登録	果実は220～240gであり、果皮は滑らかで薄い。糖度13～14、無核でじょうのう膜は薄い。	樹勢は中～やや弱い。 初期はトゲの発生が多い。	露地栽培も可能であるが、施設により品位は大幅に向上する。 水田転換園にも適する。	収穫期 1月下旬～2月上旬 可食期 2月下旬～4月上旬
不知火	長崎県南高来郡口之津町(現南島原市) 農水省果樹口之津支場(現 農研機構果樹茶業研究部門)育成 清見×中野3号ポンカン(S48)	果実の大きさは230g程度だが、奇形果が多く玉揃いはやや不良。果皮は黄橙色でやや粗い。樹が落ち着くとデコは小型化又は消失する場合がある。糖度は極めて高い。剥皮性良。果肉は柔軟多汁。ほぼ無核。12月上旬完着。	未結果期の樹勢はやや立性で結果期に入ると開張性になり樹勢はやや弱い。葉は被針形で、結実を始めるると小型化。結果性は良好で豊産性。	着果過多や収穫期の遅れは著しく隔年結果を助長する。着果管理、土壌管理を徹底し、樹勢の維持に努める。耐寒性は弱い(清見程度)。	収穫期 2月下旬～3月中旬 可食期 3月下旬～5月上旬

品種・系統名	原産地及び来歴	果実の特性	樹の特性	栽培上の注意事項	収穫期及び可食期
清見	静岡県清水市興津中町 農水省果樹興津支場(現 農研機構果樹茶業研究部門)育成 宮川早生×トロビタオレンジ 昭和54年6月 名称登録	扁球形、200～250g、黄橙色、剥皮やや難、多汁柔軟、オレンジの香りあり、種子0～10粒	樹勢は中庸で側枝は下垂する。葉は薄く葉縁が波うつのが特徴。樹の耐寒性は強い。結果期に入るのが遅く隔年結果性がやや強い。	果実が3月に熟するので温暖なところがよい。果皮が風ずれ、寒害などの障害に弱いので、風当たりの少ないところがよい。隔年結果性が強いので摘果を十分行う必要がある。	収穫期 3月上旬～中旬 可食期 4月上旬～5月上旬
はれひめ	果樹研究所興津(現 農研機構果樹茶業研究部門)で(清見×オセオラ)×宮川早生を交配 2004年品種登録	果実は扁球形、果実重は180g程度。果皮は橙色。12月上中旬に完全着色する。成熟期は12月で年内収穫・出荷が可能。果皮はやや厚いが軟らかく、剥皮は容易。じょうのう膜は軟らかい。	樹勢は中程度、枝梢の粗密は中～密。トゲが発生するが、樹勢が落ち着くと短くなる。	水田転換園では糖度が上がりにくく淡白な食味となる。乾燥地において高糖度となるので、シートマルチ栽培が望ましい。	収穫期 12月上旬～中旬 可食期 12月
みはや	果樹研究所口之津(現 農研機構果樹茶業研究部門)で津之望×NO.1408を交配 2014年品種登録	果実重は160～180g、果皮は赤橙色で滑らか、剥皮性はよい。11月中旬には完全着色する。成熟期は11月下旬～12月で、年内収穫・出荷が可能。糖度は年によりバラツキがあるが、減酸は安定して早い。	樹勢は中程度、枝梢の粗密は密。トゲの発生は少なく短い。	栽培地域や年によって糖度のバラツキがあるため、シートマルチ栽培が望ましい。12月中旬以降にクラッキングが発生しやすいため、収穫が遅れないようにする。	収穫期 11月下旬～12月 可食期 11月下旬～12月
あすみ	果樹研究所興津(現 農研機構果樹茶業研究部門)でカンキツ興津46号(スイートスプリング×トロビタオレンジ)×はるみを交配 2104年品種登録	果実は扁球形、果実重は150g程度、果皮は滑らかで橙色。剥皮性は中程度。歯ごたえのある食感。じょうのう膜は薄く柔らかい。糖度は15度程度と高く、良食味。種子が入る。成熟期は2月	樹勢は中程度。樹姿は直立性と開帳性の中間。枝梢のトゲは発生が多く、長い。	露地栽培では完全着色しにくく、緑斑が残ることがある。また、かいよう病に弱いので、施設栽培が適する。	収穫期 1月下旬～2月上旬 可食期 2月